

4209

11月 81下
13行へ
天つき
改行

ふかふか
不可分 1922
合はふかの北東部

3686 P-1/2

みいげん
明子 2164

3632 P-3

とく
特異 1591
特異に普通と異なり
4209P 特異にふくまれている

斑鳩寺（現法隆寺）の特異な構想

極めて

先に、

へ当初の斑鳩寺（若草伽藍）は、推古十八

年（六一〇）四月三十日の夜半に炎上したの

であらう✓

と述べた。（巻頭の第10表参照）

とすれば、当初の斑鳩寺（若草伽藍）が焼

失した後は、何時、斑鳩寺（現法隆寺）

は再興されたのであろうか。

その後は、どの文献にもしてられていない
ので、明言することは出来ない。

寺院と本尊とは不可分の関係にあるのだから

どちらかが異常に早く造られ、他方が全

く考慮されない（切り離し考えられない密接な関係）

などというものはあるまいや

①現在の根本本尊日釈迦三尊像を作製する

以前には、まだ斑鳩寺（現法隆寺）が、

いまの西院の地に再建されていなかったの

朝日415(2003)7.16(K)
西院の墓 7世紀前半から中頃まで
建立された当時の村とすの地再建改
同 4209

3,686

全記教書 366P-37
3654P
3701P

ほか以元
発願 2041P
3661P
3689P

670
622
48

町田66

天智九年のことはここには記さない

(意味が明)

たう、と推測される。

② また、日釈迦三尊像が発願されたとき

推古三十年(六二二)以後、長らく日斑鳩

寺(現法隆寺)が建立されたときも考

えにく

すなわち、

へ推古三十年(六二二)正月に釈迦三尊像

を敬造ろうと発願し、その像の製作に着手したのとはほぼ同時

期に日斑鳩寺(現法隆寺)も再建されること

とになった

と考えるのが順当であろう、と思われる。

■なお近年、建築史の村田治郎博士は、一

部の美術史家のあいだから、

7 (現)法隆寺の創建は、七世紀聖徳太子夫

妻のため、推古三十一年(六二三)につく

れた釈迦三尊を、本尊として建てられたもの

であろう

という説がなされてゐる。(「聖徳太子」上

原和、講談社、一四八頁参照)

*

改行

さて、聖徳太子が薨去された直後ころ
に聖徳太子の爲に再建されたと考えられる
斑鳩寺（現法隆寺）は、当初の斑鳩寺（若草
伽藍）と比べればかなり趣を異にしていた。
当初の斑鳩寺（若草伽藍）の配置が、南北
の軸線上に金堂および塔をおく日天王寺
式配置であったのに対し、―――再建さ
れた斑鳩寺（現法隆寺）では、金堂を東、塔
を西に置き、四方に回廊をめぐらせ、南に中門
を開く。（写真図版647参照）第七十章（若草伽藍）
この配置方式は、大陸伝来の四天王寺式配
置とちがい、日本でつくりだされたものとさ
れ、日法隆寺式配置とよばれる。（「世界
大百科事典」平凡社「法隆寺」等参照）
このように、斑鳩寺の再興にあたって、伽
藍配置の形式、とくに金堂と塔の位置が大き
く変更された。
では、この二つについては
一体、どのような理解したらよいのであろう
か。

3571^{P-1/2} 伽藍配置図

3619^{P-3/2} 図
4693^{P-3/2} 図
4694^{P-2/2}

3.687^{P-2/2}

3571^{P-1/2} 危険
523^P 回避
361^P 回避
3628^P 回避
3684^P 回避

「これを、立地条件の違いに由来すると解釈した人もいる。しかし根拠薄弱である。そこにはもっと大きな意味があった筈だ」という。へ「法隆寺」町田甲一、時事通信社二〇〇頁参照

①参考迄に述べると、一直接上に配置したのでは、若草伽藍のよう
に次々と類焼し、易い。そこで三層を
へ講堂と、金堂と、塔とを、三角形の各頂点
の位置に配置し、火災のとき焼亡する危
険性を少しでも回避したい。全堂塔が同時に
という意図があつたのではなからうか、と想
像される。

②そしてもしかしたら、蘇我馬子によって創
建されたと思われ、陣内廃寺（法興寺であ
ろう）が、金堂を西、塔を東に置く、いわゆる
日観世音寺式配置であることと、関連性が
あるのかも知れない。（第442図へ伽藍配置比較図）参照

・陣内廃寺の伽藍配置については、第八十四
章へ観世音寺の項において述べたい。

・配置する方式を官寺に採用するのは、再建班
鳩寺（現法隆寺）が最初だった。大倭国（肥後国）に建立された官寺。法隆寺は、陣内

三本尊 町田 200?
二本尊 町田 203?

3,688^p

天つき
改行

3組の本尊の図 3691-5/6

廃寺と同じく金堂と塔とを東西に配置していた可能性もある

か、確認するのは難しいだろう

木 尚、聖徳太子が私的に創建された当初の斑鳩寺(若草伽藍)と違って、官寺であつたから、

た斑鳩寺(現法隆寺)は、南北を重視した構成とされたのだから、

そ、南を重視した構成とされたのだから、

図では、もとの斑鳩寺(若草伽藍)の金堂内部

とは、恐らく異なつて、現状のような、

三組の本尊を並べて安置するに、

という構成が採択されたのは、どのような事情からであつたろうか。

隆寺金堂(内陣参照) 52 入法

金堂の規模および内陣の空間は、

すぎると、

という。(「法隆寺」町田甲一、時事通信社、二〇〇頁参照)

・あるいは、この斑鳩寺(現法隆寺)再建の構想

当初からすでに、新加三尊像・薬師如来像(大

倭国(肥後国)法隆寺の本尊・阿弥陀三尊

像の三組の本尊を安置するための空間が設

定されて、いたのかも知れない。

・詳細を見ると、今の法隆寺の金堂内は三間

に分かれていて、設計の最初から下三つの像の据え置

に

ア、ミカ
莊 1286

③3686² - 3/2 689

③3655² ~ 6²

③3714²

3.689²

町田甲 - 203²

西中東
の間の
間(6)間

佛=44²
3714²

阿彌陀小鉢1022²
町田203²

茶屋主人 町田83²末行

ぎが予定されていたようにみうけられる。
つまり、
東の間には父君用明上皇の御爲に造られた
薬師如来像、中の間には聖徳太子の御爲に造られた
造中の釈迦三尊像、そして西の間には母君間
人皇后の御爲の西方浄土の御佛たる阿彌陀佛
を、それぞ安置することによりよう。
という計画のもとに、斑鳩寺(現法隆寺)が
再建されたのだらうと推察される。(「法隆寺」
町田甲一、時事通信社、二。三頁参照)
・もう一つ、そうなら、推古朝末頃完成したであ
ろう斑鳩寺(現法隆寺)金堂の中の間には
推古三十一年(六二三)に完成したとされる
根本本尊の釈迦三尊像が逸早く安置されたもの
の、東の間には長らく薬師如来像は置
かれていなかったように思われる。
大倭国(九州)の法隆寺は、次の庚午年
(西暦六七〇)に茶毘に付されることが予め
決まっていたのであろう。(既述)
・すなわち、法隆寺の御本尊として敬われて
きた薬師如来像は、天智九年・庚午年(六七
〇)四月三十日夜半之後の莊嚴極まりない儀

新加三筆像銘文 3661-1/2
 町田66 思考 2969 3,690
 天つ路行 1字アキ
 670年 622 368 48
 元禄1281 3656
 3571 1/2 3611 2/2

式後 大和国の斑鳩寺（現法隆寺）へ運ばれ
 てゆき、東の間に安置されたのではなからうか。
 先ず中の間に置かれ、やがて

①金堂と塔を東西に並べ、四方に回廊をめぐら
 せる、法隆寺式配置を採択し、

②推古三十年（六二二）ころ三年頃、発願され
 たと思われ、斑鳩寺（現法隆寺）に、約半世後

その人物は、一体、誰だったのであらうか。
 後を予測した、三分割の間取りを取り入れた

しかし、新規な発想・将来を見越した思考
 というものは、誰にでもたやすく出来る

ではない。
 あるいは、推古三十年（六二二）正月に聖

徳太子が発病され、王后・王子および諸臣が発
 願して釈迦の像をつくることとなった時、

長い間胸の内に思ひ描いておられた構想を、病床
 にある聖徳太子が漏らされたの、かも知れない。

・金堂と塔とを東西に並べる伽藍配置、
 ・三つの本尊を安置する金堂内の間取り、

等、の二つについて語られたことであつたらうか。
 米 のかも知れない。

町田 379P
西の阿部 209P
天蓋 1541P
法隆寺 1541P
天蓋 1541P
法隆寺 1541P

法隆寺 1541P
天蓋 1541P
法隆寺 1541P
天蓋 1541P

法隆寺 1541P
天蓋 1541P
法隆寺 1541P
天蓋 1541P

法隆寺 1541P
天蓋 1541P
法隆寺 1541P
天蓋 1541P

そのれにいても、自ら作つた法隆寺を自らの
意志で茶毘に付そうとされるなど、当時
の人々にとっては、驚くことばかりであつたろう。
とはいへ、偉大な聖徳太子の御心の通りに、斑鳩
寺（後代の法隆寺）が建立され、そして大倭国（肥後国）
の法隆寺には、天智九年に二層も餘る、炎上したように思われる。
もつとも、金堂内中央部にある釈迦三尊像の
天蓋は正常に吊られてゐるのだが、一かゝり金
堂内陣の支輪（天井の端を支えている斜めに湾曲して
立ち上がる部分）が、かなり内側へ迫り出しているの
で、東西二つの天蓋は支輪（東西の支輪）に触れんばかりとなつて
いる。さか、窮屈な状態で納められてゐる（写真図）
（上端部）
釈迦三尊の左右に、東西の二尊を並べて
安置する（これは、当初からの考案ではなく、
金堂の完成後しばらく経ってから考えられた
ことを推測させる）
とも言われてゐる。（「法隆寺」町田甲一、
時事通信社、二〇四頁、二〇九頁参照）
↑↑↑三層に分かれた間取りに、三層の天蓋を作つた
少々うかつなから、東西二尊の天蓋の納まり
具合についてまでは、思い及ばなかつたのであろう
と想像される。

天つき
改行

1字下キ

大カマ2218' 大カマ2448'
生 漢ザラ
頭 漢ザラ
ケン

穴狭部間人
紀下193P

1740 40% 系図に無い
3,691-76

D3626 155
3678 54
1027

改行

年考年代4
H5.4/31

ねんちやう ねんしやう
年中 小探351
用T回379

の二つの本尊だけを並べて安置したのでは、あ

②大和国の斑鳩寺の根本本尊として再造された

①大倭国(肥後国)の法隆寺の本尊として造ら

一頁参照 法隆寺の資財帳にも記されているのだから

隆寺し所田甲一、時事通信社、三七九十三ハ

(良訓)によれば、その当初の三尊仏は、太

子の御母の穴穂部間人太后および太子と太子

妃の高橋大郎女のために造立されたというが

その造立年時については伝えていない。「法

隆寺し所田甲一、時事通信社、三七九十三ハ

一頁参照 法隆寺の資財帳にも記されているのだから

いうまでもなく、もしも金堂内に、

の阿弥陀像の光背裏面に刻まれている銘文に

よれば、

「最初ここに安置されていた阿弥陀三尊が

平安時代後期の承徳年中(一〇九七-九九)

に盗難にあつたため、鎌倉時代中期の寛喜三

年(一二三二)五月八日に鑄造を開始し、翌

貞永元年(一二三二)に完成して供養された

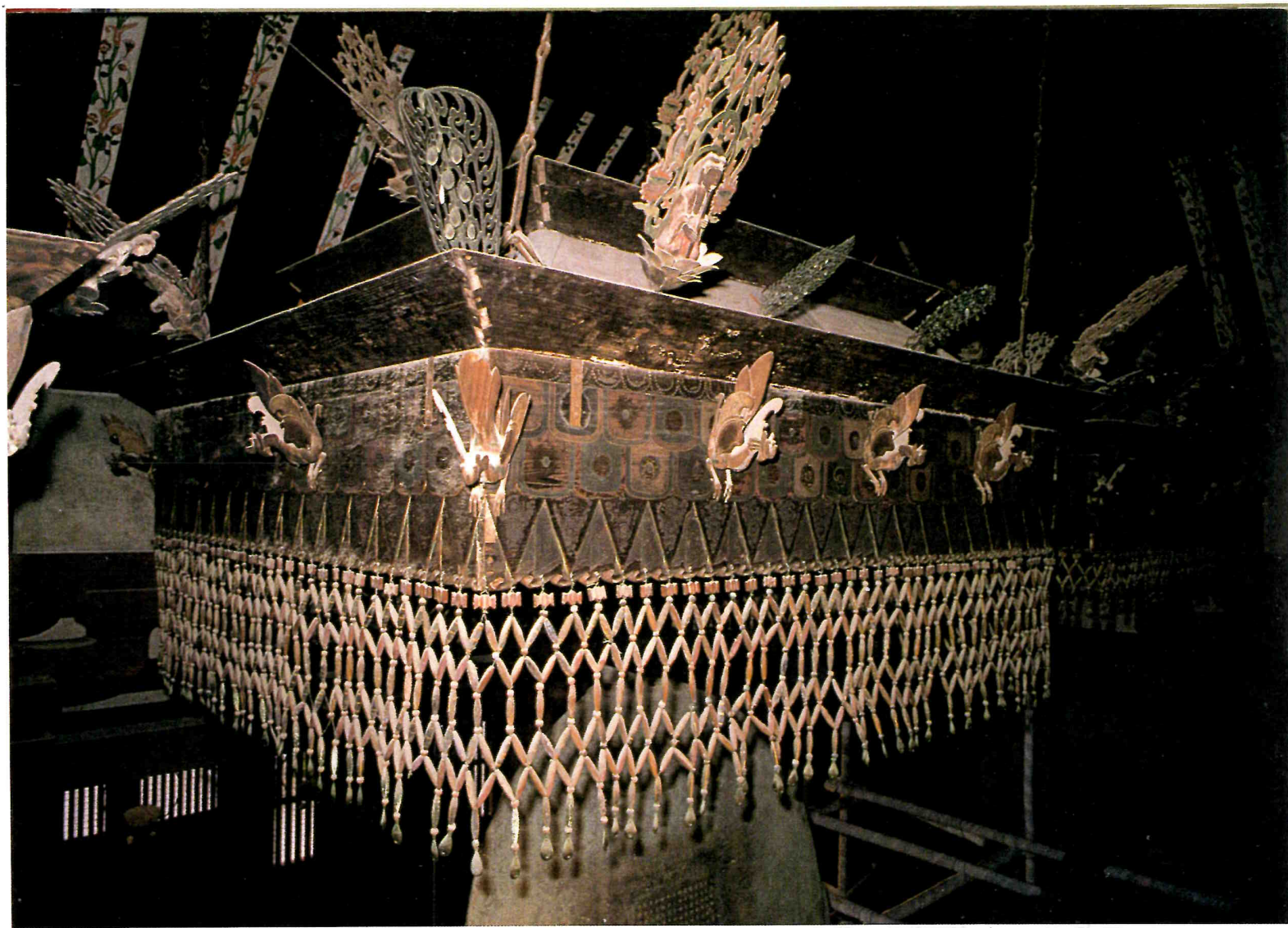
という。(写真図版51)阿弥陀三尊像(参照)

また口太子伝私記によれば、古今一陽集

阿弥陀三尊像

3,691^p - 3/6

カラー
左頁上半分に
限度一杯はみ
出して掲載
下さい。



1324

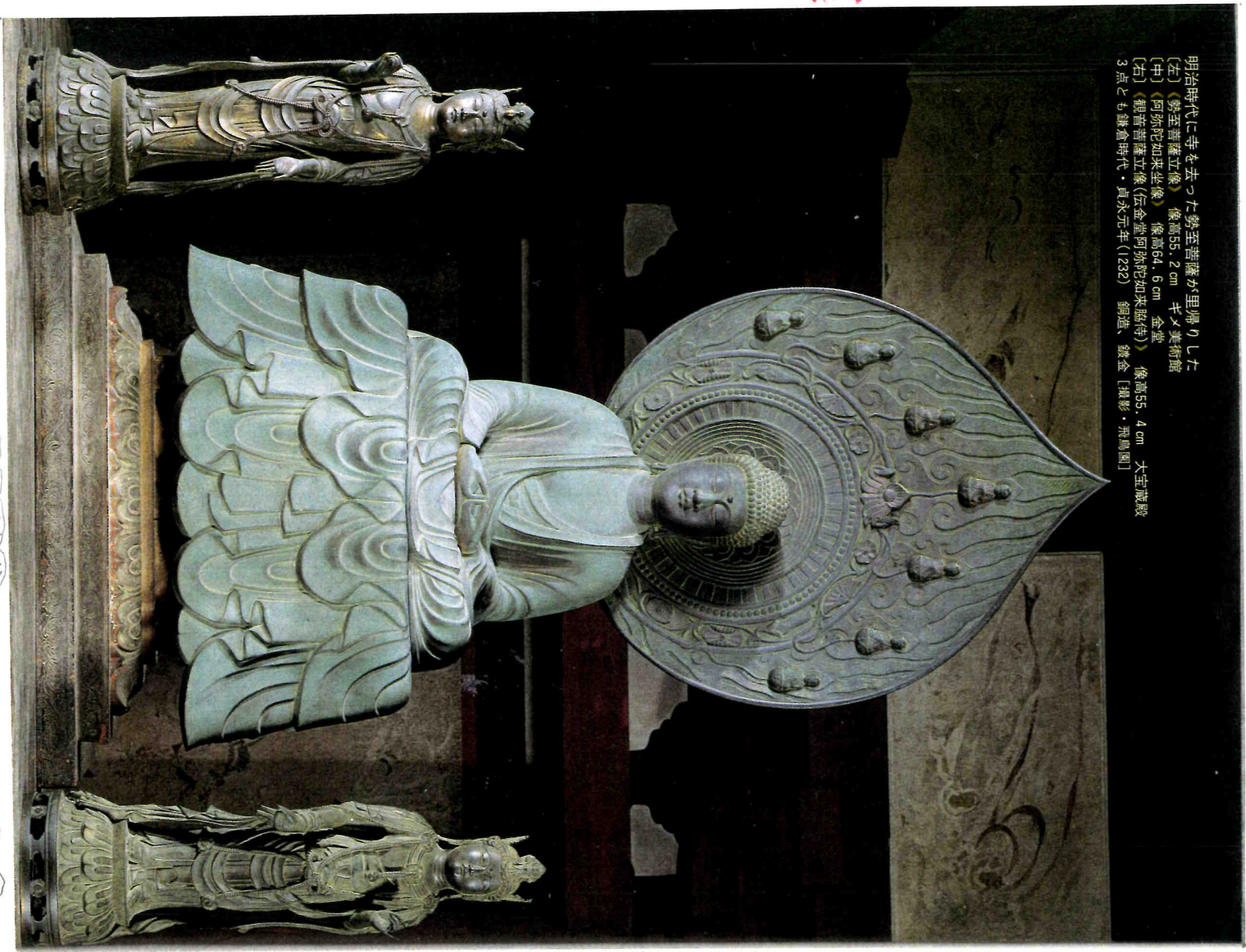
1464

写真図版 650 法隆寺金堂の三つの天蓋
名宝日本の美術『法隆寺』大西修也 小学館 1990年10月1日発行 98頁参照

3691^p / 6
125

・カラー
・右顔全面に大きく掲載する。

明治時代に寺を去った勢至菩薩が里帰りした
 [左] 勢至菩薩立像 像高55.2 cm キム美術館
 [中] 阿弥陀如来坐像 像高64.6 cm 金堂
 [右] 観音菩薩立像(法金堂阿弥陀如来脇侍) 像高55.4 cm 大宝蔵殿
 3点とも鎌倉時代・貞永元年(1232) 銅造、鍍金 [撮影・飛鳥園]



→ 白ニ塗り、赤ニ点

3,691^P-4/6

1469

1369

法隆寺千四百年 高田良信 新潮社 1994年11月25日発行 97頁参照
 思真図版651 阿弥陀三尊像 (法隆寺金堂、西の間)

3691^P2/6 16cm×10cm
 3691^P2/6 16cm×10cm 3691^P2/6 16cm×10cm 3691^P2/6 16cm×10cm

3691^p 5/6

・カラー
・左頁全面に、限定一杯のみ出させて掲載下さい。

白点を14(30)

267^p



14a9 写真図版 652 法隆寺金堂内陣

13a9 日本美術全集 (2) 法隆寺と奈良の寺院 小笠原 2012年12月10日発行 #11 参照
12a9 阿彌陀三尊像・釈迦三尊像・薬師如来像 か並らばい

前頁 ③3668^p-2/2 ④3614^p-3/3

④4750^p 2行

④3611^p ④3688^p 10行 ④3706^p 1/2 3行 ④3707^p 1/2 3行

令和3(2021) 1. 21(木) ~ 1. 23(4回)

11x

3.691^D-6/6

げんめく
目眩感

7,721

透過す

必ず

1872^h

衣隆寺に、本尊が
二体ある

並
ら
へ
置
か
れ
て
い
る

する。

二つの金堂内に
二つの本尊があるのはなぜ

た
ろ
う
か
L

という疑問が生ずるのは必ずである

恐らく、後代の学者達は、この疑問を突破

口とーて、
法隆寺と斑鳩寺と加合体立

水たこにすく~~い~~気付き、大倭国(肥後国)の

法隆寺の委細にまでも溯って厳しく追求めて

くらすく

号 二 七

へん々の好奇心を眩惑させ、気を逸らすた

め、
ー
ー
ー
ー
ー
金堂内に、
二つの本尊のみな

らす、さ、ら、に、も、う、一、つ、の、本、筆、を、追、加、し、て、食

計三
の本尊を安置することによりよう

と企てら小たように推察される。(写真図版

652
法隆寺金堂内陣
参照

1/1
新
頁



上原 76~77^p

雲形斗拱の起源について「新」(1)-102^p

3,692^p-1/2

隋 1169^p(581~619)とある
唐 1558^p(618~907)

南史行 372^p 隋 581~618 とある
515^p 唐 618~907

曹魏の頃からの歴史を秋めた口雲形斗拱

↑↑↑ 強大な力を誇った隋(五八一~六一八)の歴史を見てみよう

があっけなく滅び去り

時はすでに、唐(六一八~九〇七)の時代となっていた

三十年(六三三)の釈迦三尊像(現法隆寺)の創建(再建)工事が推古天皇と殆ど同時に着

手とれ、推古朝末年の推古三十六年(六三六)以前に完了していたものならは

「斑鳩寺」つまり現在の法隆寺に、初唐のころの影郷音がみられる

と、でも、少しも不思議ではない

以下、「聖徳太子」再建法隆寺の謎、上原和、講談社、七四二一〇三頁参照
現在の法隆寺建築は、飛鳥様式の単なる踏

上原和87

3692-2/2

上原和77-78

新田の三尊像の寫字體を、初唐であるまい、

④ 3675-1/2 インタシス(月形・55み)

上原和77 上原和79 7斤

雲斗と雲肘木とを組み合わせた斗拱

襲ではなく、すでに初唐の新様式の影
響下にあり、しかも、法隆寺独特の意匠と構
造を併せ持つ、まことに特異な新形式であ
る。
■まず、法隆寺金堂建築の諸細部のなかで、
初唐様式の影響が認められるものをあげると、
人字束(人という字の形を)高欄を支える
束、エンタシス(円柱の胴部のふくらみ)、平
行垂木、覆斗型天蓋等がある(写真図版650・653参照)
■しかし一方、古様式のいちいりといとされ
る雲形斗拱や四斗が用いられており、また
法隆寺の創案といわれる法隆寺式唐草
瓦がみられる。写真図版
■そして、ここに常に問題になるのは、法隆
寺建築のなかで最も特徴的な軒の組物の斗雲
形斗拱の存在である。(写真図版654・第450回参照)
■いっは、この雲形斗拱あるがゆえにこそ、
法隆寺建築は飛鳥様式(推古朝の様式)に属
するものとして、今日なおその古式性がか
たく信ぜられていると言える。

3,693^P - 1/3

- ・ カラー
- ・ 右頁の上半分に、
限度一杯はみ出して
大きく掲載下さい。



120G

← 龍^{リウ}が巻^まき付^ついている支柱^{しちゆう}（四本）
人字束^{じんじ}（人という字の形をしている）
（木この2行を、入かして下さい）

130G

140G

写真図版 653 法隆寺の金堂^{ニンドウ}

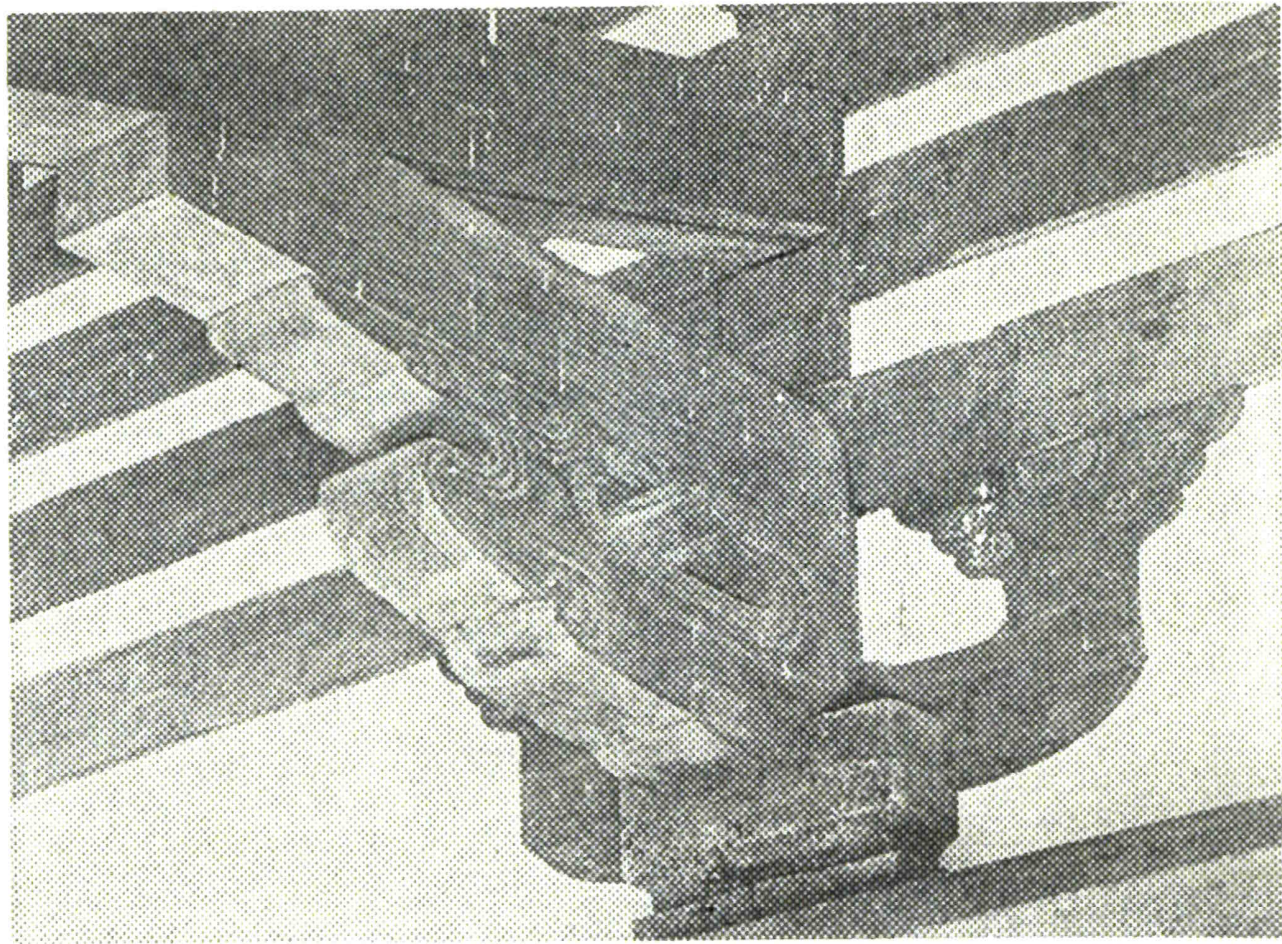
『法隆寺金堂壁画』法隆寺、朝日新聞社、1994年11月15日発行、75頁参照。

3702^P 2/3

金堂と五重塔 3675^P 4/6

3,693^P-2/3

・左頁の上半分に
大きく掲載された。



1409

写真図版 654 法隆寺金堂の雲肘木 大勢をきく木 (雲形斗拱)

1309

まちだこういし

『法隆寺』田中甲一、時事通信社、昭和62年11月10日発行、220頁参照。

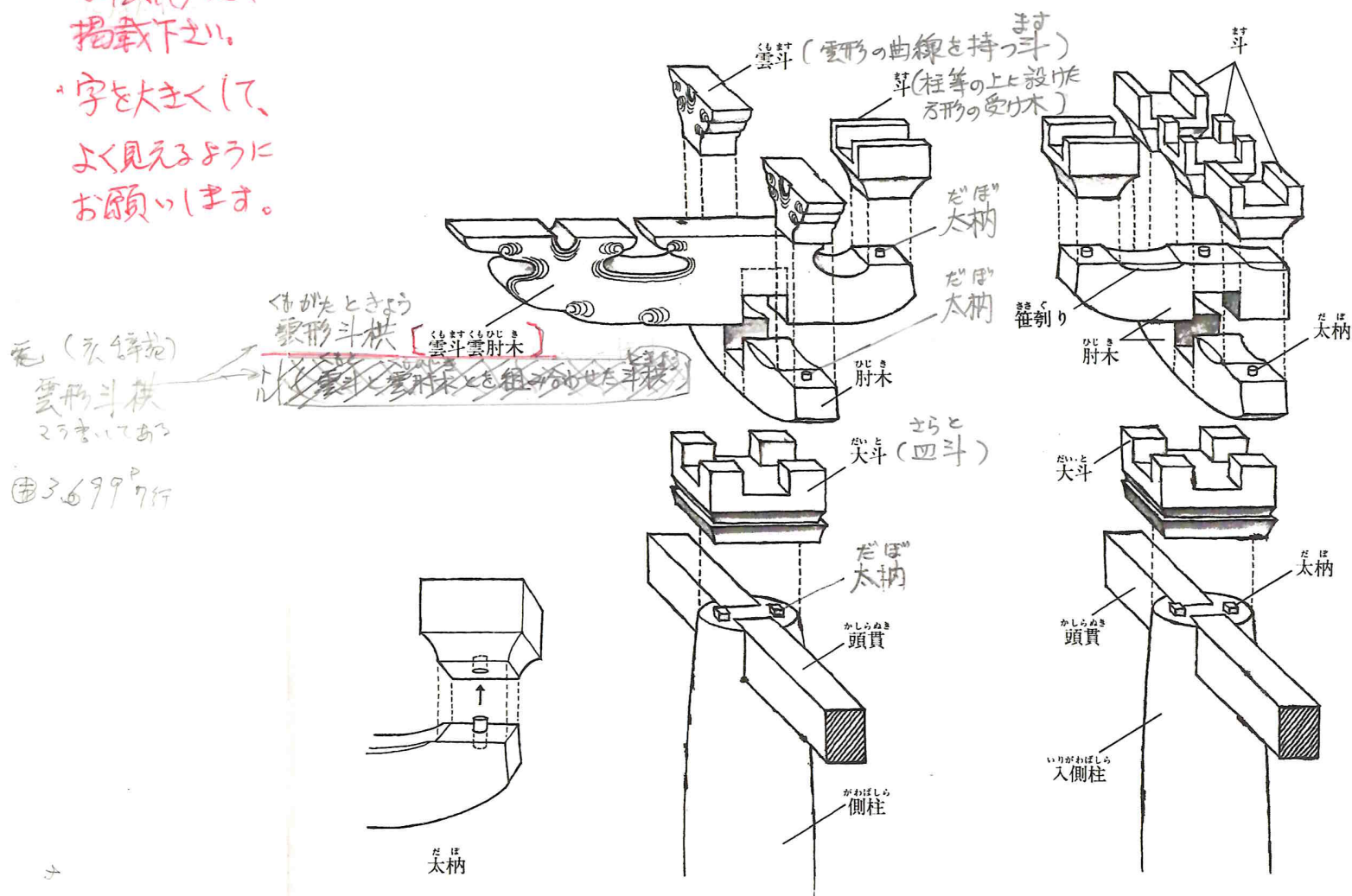
12 1309 白壁の手前側だけが見えている。

4 白壁の手前側だけが見えている。

さきで

・左頁の下半分にはみえて大きく掲載下さい。

・字を大きくして、
よく見えるように
お願いします。

$$3,693^P - 3/3$$


由 3700'

(煤炭灰院樓閣
沈降路金邊
雲形外狀
玉出到子)

1309 1409 第450図 法隆寺金堂の雲形斗拱 くもがたときょう
「法隆寺」西岡常一・宮上茂隆・穂積和夫、草思社、24頁参照。
273

新和(1)-101^P

④ $3697\frac{1}{2}$ 上厚和87米
1159

75° 45' 12"

3,694^P - 1/9

曹魏 26511⁹
220~

上厚和

21 ゆう
固執 797
ないとう こなん
内務 湖南

上厚和87
「小町」65

宮風 きゅうて

陵墓・廟の入口前の左右に一對石を積み重ねた装飾的構築物

法隆寺金堂の雲形斗拱の祖形を、四川省の

漢代石闕にまでさかのぼる。浮つて求めたのは、

田耕作博士であつた。
法隆寺の建築様式

と支那六朝の建築様式に就いて大正15年5

月内藤博士還曆祝賀 支那學論叢 所收參照

今日の学界もまた、浜田説をそのまま継承

す
か
否
か
は
は
ら
く
お
く
と
ー
て
も
一
法
隆
寺

金堂の雲斗拱を漢・魏(紀元前二世紀から

後三世紀半はすきころの傾向とみて

それが、どうしたわけか、大陸ではよくよく

て
さ
い
ら
ま
く
さん
く
作
り
焼
ナ
う
れ
て
て
入
カ
ル
国

けい
し
う

く

つ

つ

わ

く

と
な
か
う
の
し
う
へ
三
の
ひ
た
ろ
う
ハ
と
た
三

あ
ま
か
し
た
い
ふ
た

と
な
か
う
の
し
う
へ
三
の
ひ
た
ろ
う
ハ
と
た
三

飛鳥田代に位元小太の
ねんたいかん

1	点
5	ヤ
1	
0	生
	代
	鶴
	に
	お
	い
	て
	い
	こ
	こ
	1
	5
	7
	一

方な
かこ、
富山
敢男
専士
は、
兵田
説を
受士

[illegible]

7
四
川
省
の
莫
や
の
石
造
遺
物
と
曲
か
り
く
ね
フ

先	村	ミ
木	子	回
み		
あ		
う		
あ		
立		
れ		
ア		
い		
る		
と		
こ		
ろ		
を		
外		
る		
と		
、		

去冬寺金堂の雲斗拱は漢代の建築の流を

くん 芝 ぬ の に 相 靠 な く 、 あ ま り に も 古 風 で 有

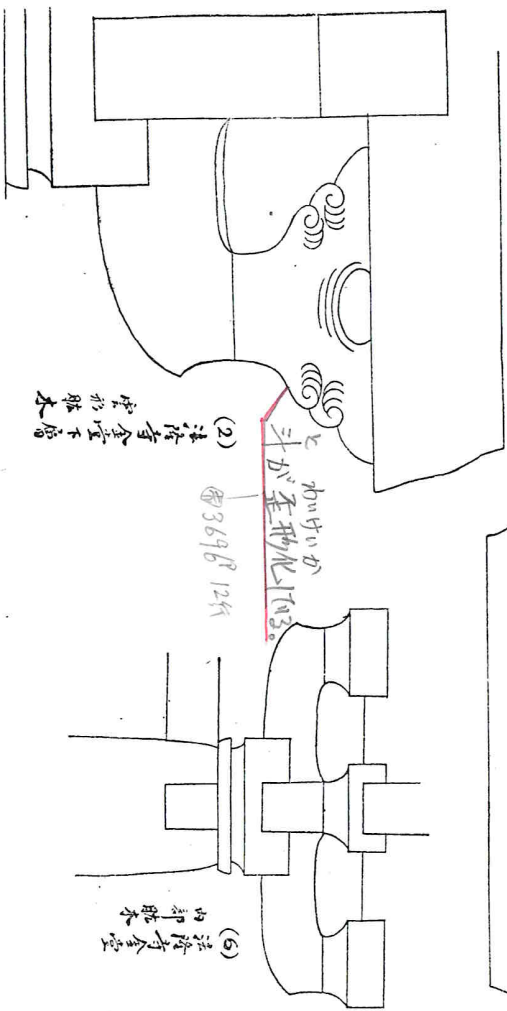
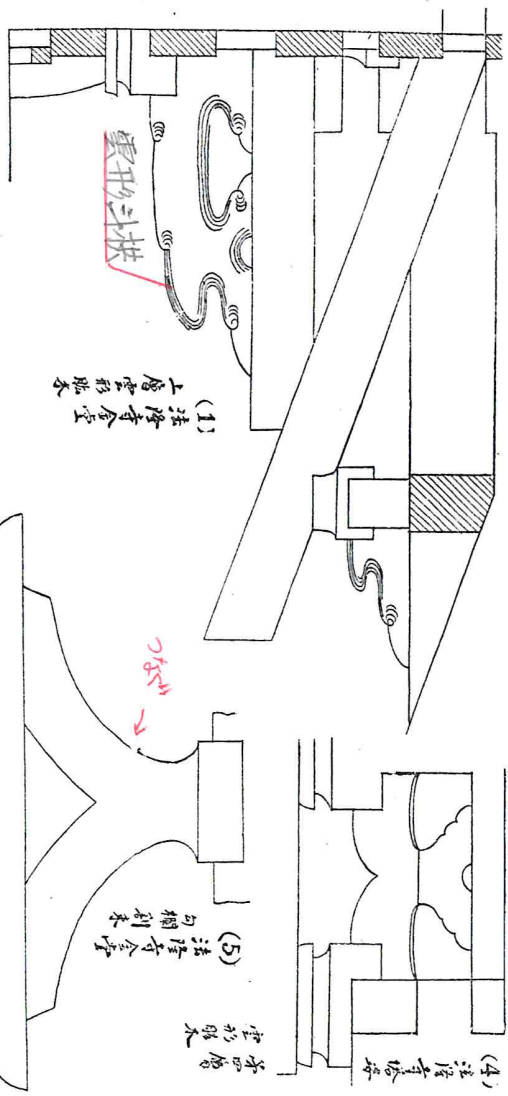
右頁全面に限度一杯はみ出し、大木掲載下さい。

線の細い。オシロ(大く、濃く(利)おんか)。

全面のヨロヒ

トル

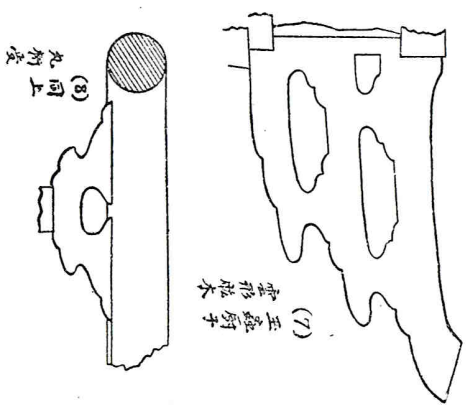
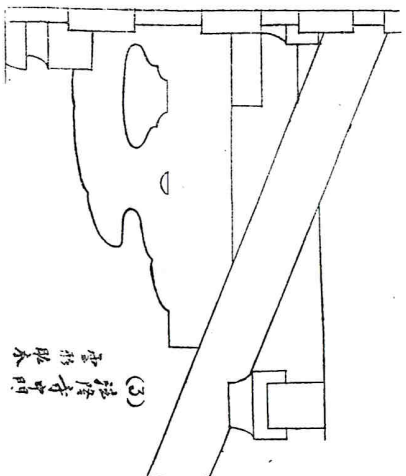
・字がハルさ、
出来るだけ大きく
して下さい。



275

3,694^p-2/9

王虫厨子にハルさハ
ある。曲 3975^p 1244所



(法隆寺前廊の建築様式と支那漢六朝の)

3694^p
-1/4
金堂

1404

第451図

法隆寺建築及び王虫厨子雲形斗拱及び曹東(人字束)

法隆寺の建築様式と支那漢六朝の

1304

支那學叢書

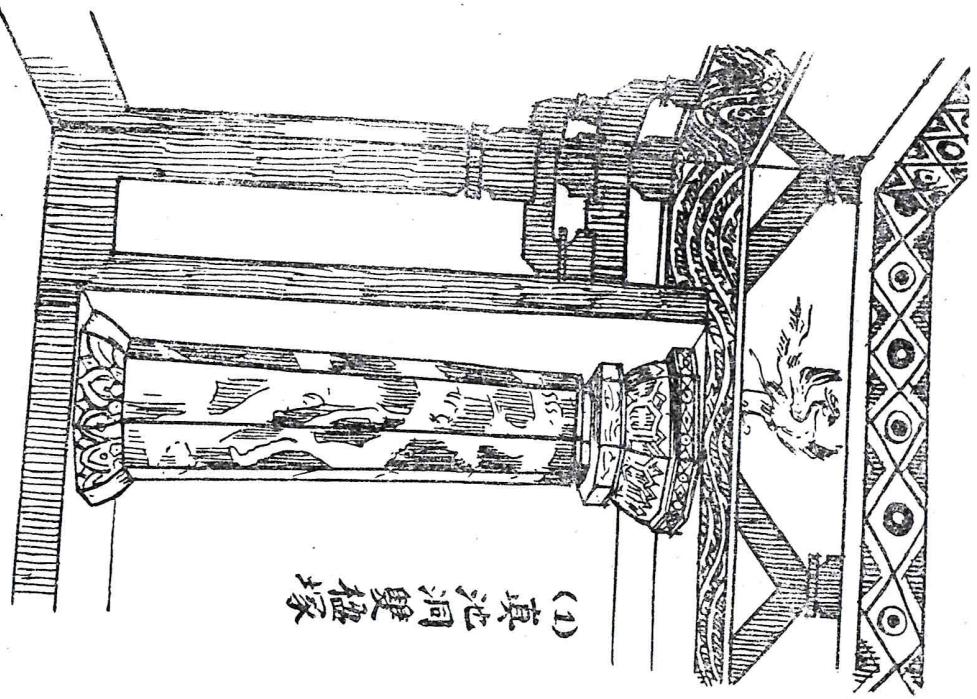
大正15年5月25日発行、95頁

建築様式に就いて、漢田耕作氏執筆参照。

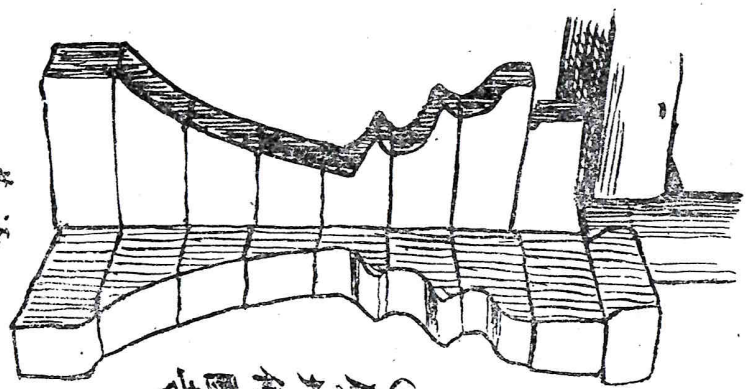
・左頁全圖に、
大土塼載下せし。

1309 1409
1509 1609
1709 1809
1909 2009

3,694^p - 3/9

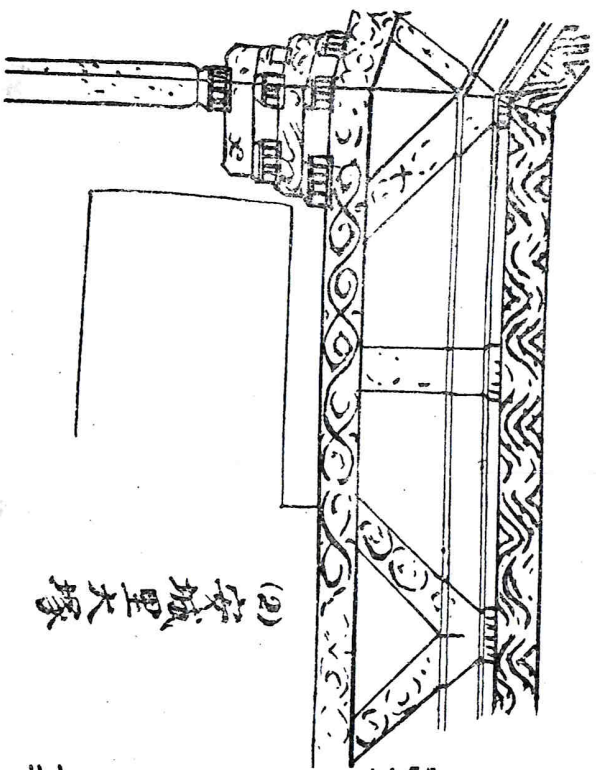


(1) 真池洞雙極塚

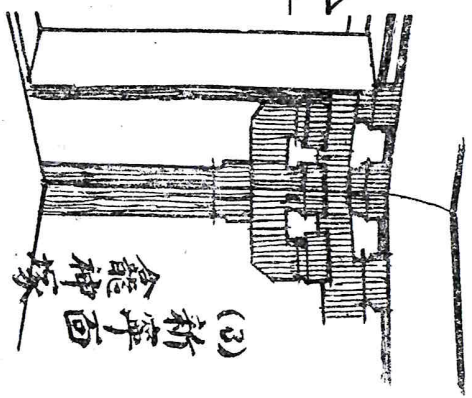


(4) 慶州佛國寺

基柱
涵影柱



(2) 安城里大塚



(3) 新寧面
金龍神塚

3695^p - 1/2
9行

1309 1409
1509 1609
1709 1809
1909 2009
弘文堂書房 大正15年5月25日発行 96頁
漢式に就いて 漢田耕作氏執筆参照
朝鮮高句麗古墳壁面及び仏国寺基柱
大正15年5月25日発行 96頁
漢式に就いて 漢田耕作氏執筆参照

・124 & 1304

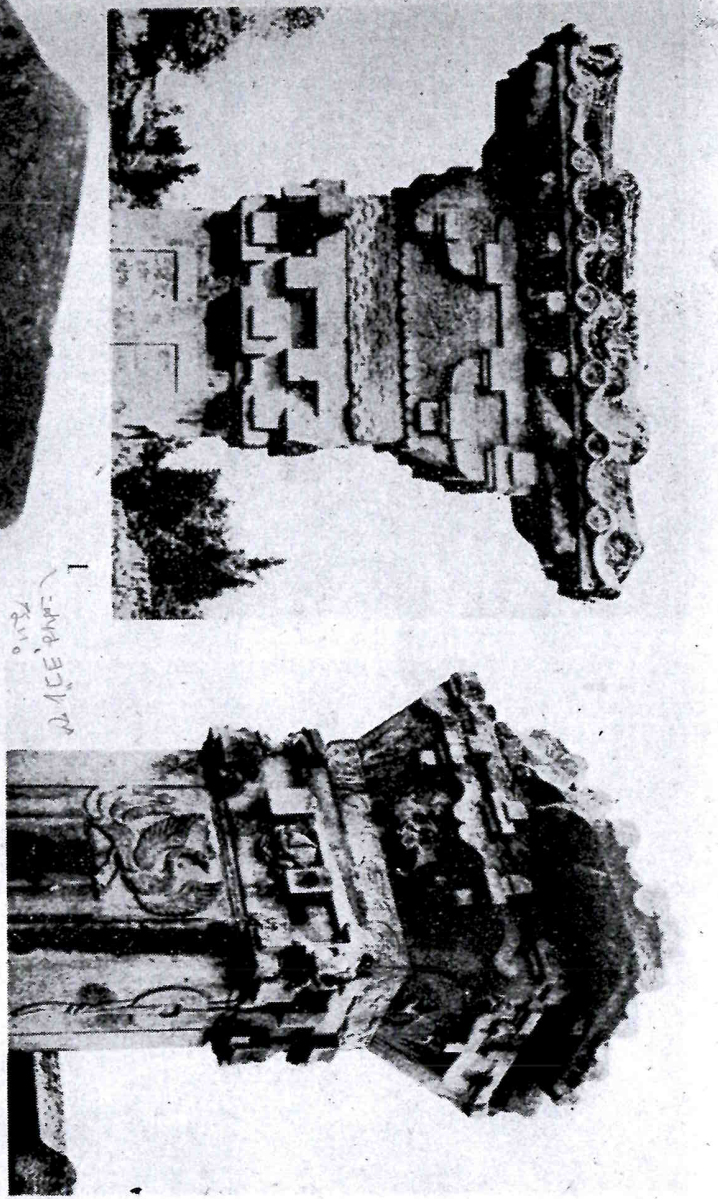
右頁全面に、限度一杯
はみ出た木を掲載
下さい。

全面に
あるヨギル
HV。

文字 1204

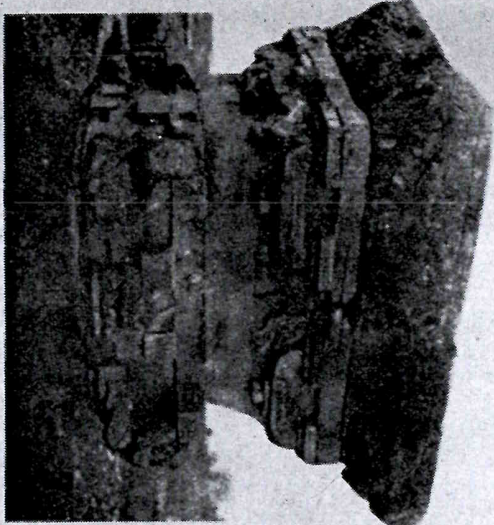
ヨギル HV

ヨギル
HV

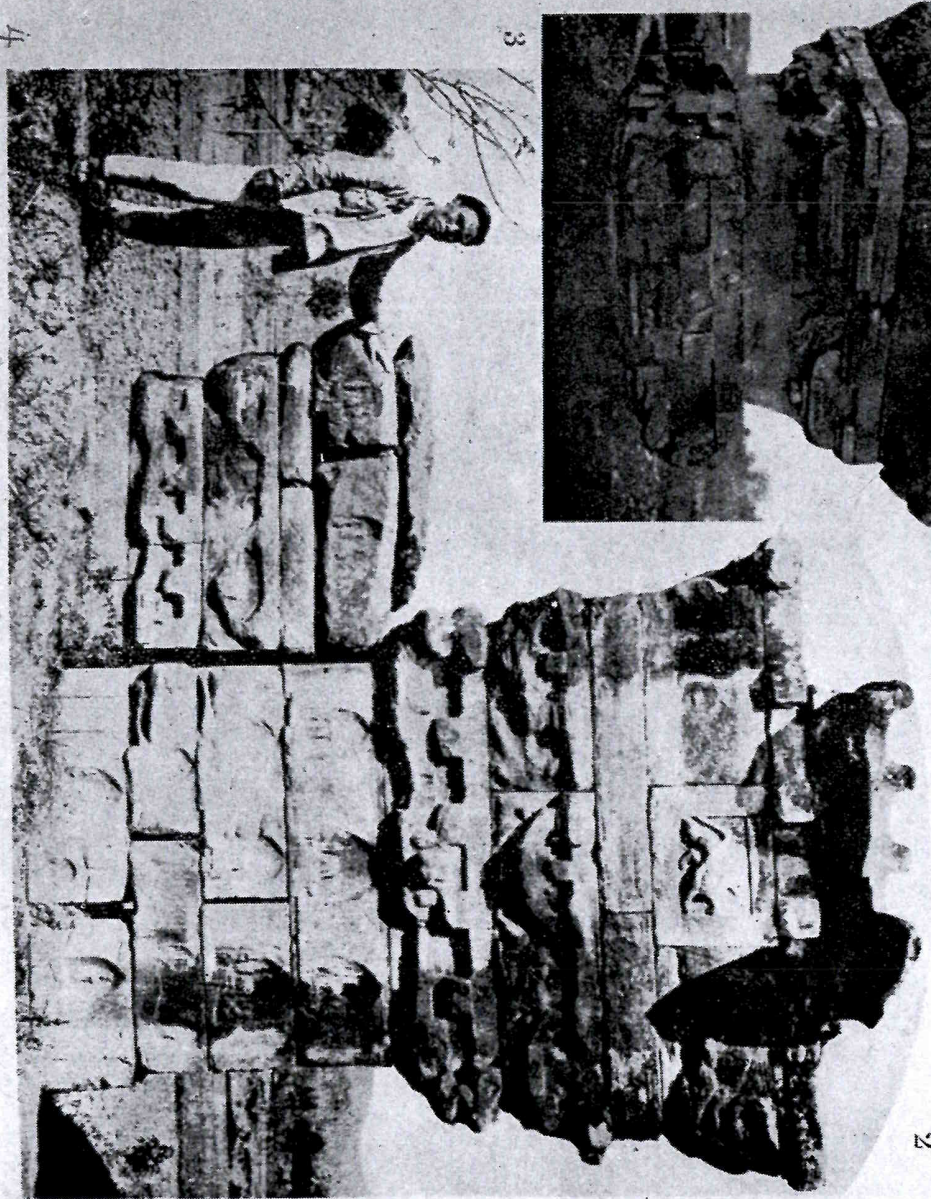


ヨギル HV

1305P-5/7
3,694P-4/9



3



4

- (1) 馮煥石関
- (2) 泥府君石関
- (3) 趙氏石関
- (4) 高頭石関

277

ヨギル

47
1305P-5/7

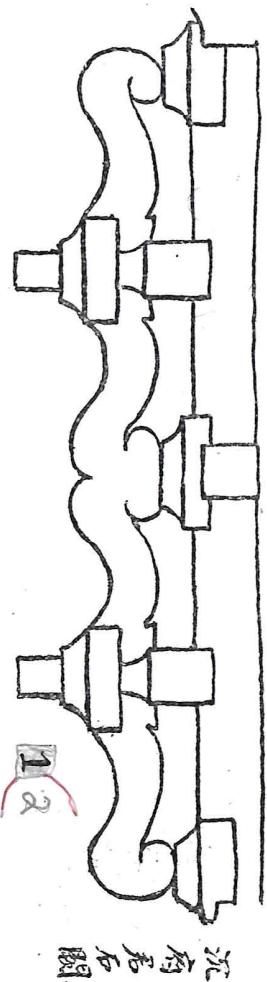
3694P-4/9
1284P-2/2

1404 (2) 石関 (スガラノ氏 図譜)

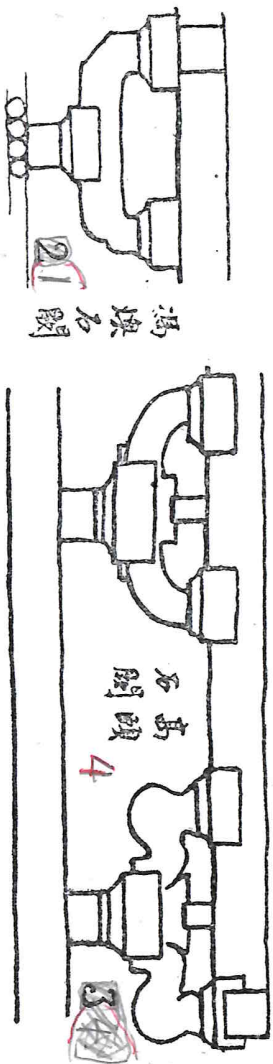
『支那學論叢』 大正15年5月25日発行 108頁 <法隆寺の建築様式と支那漢六朝の建築様式を対比して> 漢田耕作氏執筆参照。

・左頁全圖に、限度一杯はみ出して
大きく掲載下さい。

・ヨコヒト
・127と1204



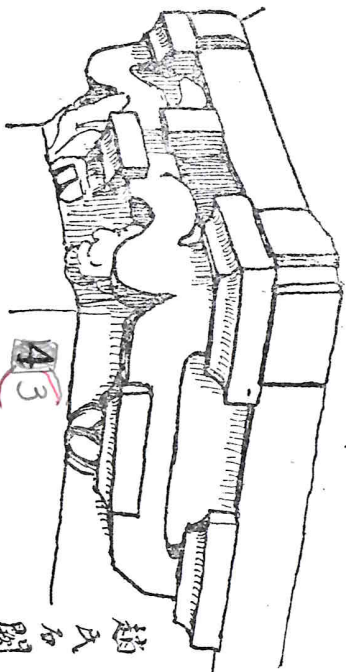
沉府君石関



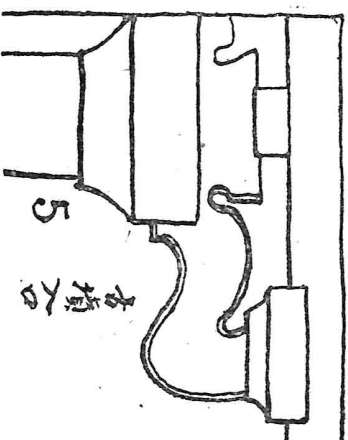
湯煥石関

石関 高頭

4



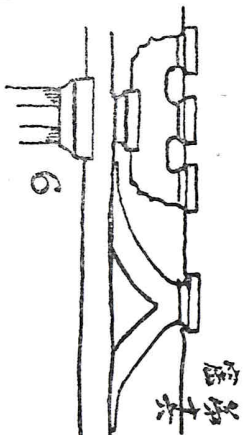
趙氏石関



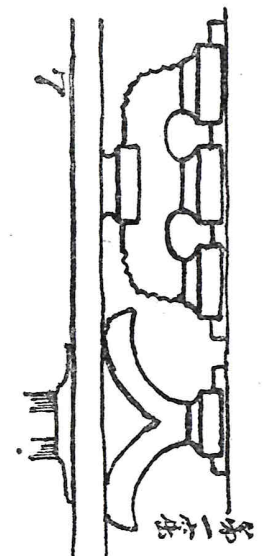
香墳石関

278

3.694² 5/9



窓第太



第二窓

1441078' 611' 557' 356' 197

第453図

支那四川石関

及び天龍山石窟寺斗拱

及び對味(人字束)

(1) 馮煥石関

(2) 沉府君石関

(3) 趙氏石関

(4) 高頭石関

(5) 棧橋附近古墳入口浮彫

(6) 天龍山第16窓

(7) 同第1窓

1441078' 611' 557' 356' 197

13 支那學論叢書

弘文堂書店 大正15年5月25日発行

106頁 法隆寺の建築様式と支那漢六朝の

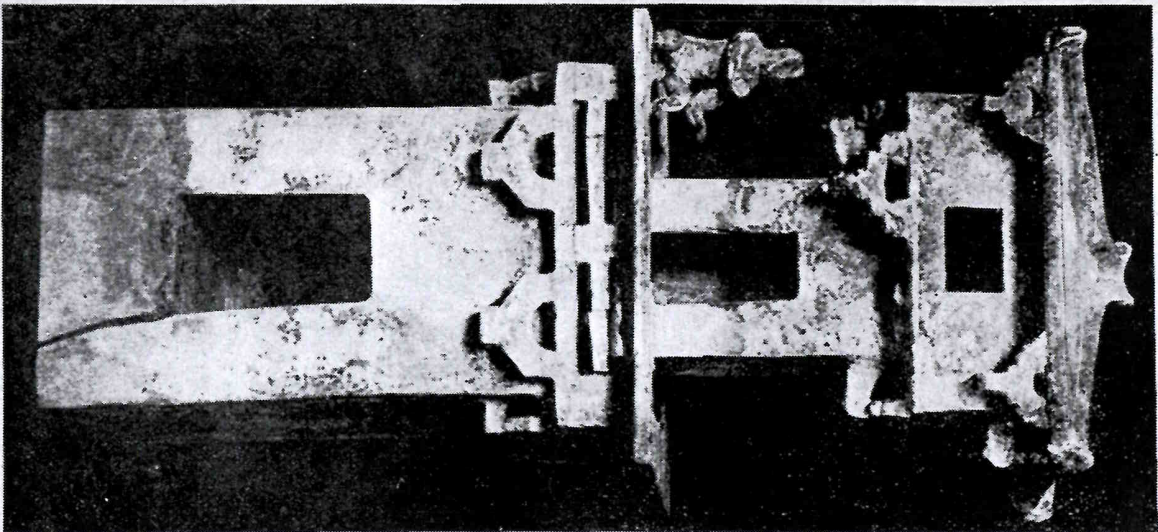
建築様式に就いて 栗田耕作氏執筆参照

1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27.28.29.30.31.32.33.34.35.36.37.38.39.40.41.42.43.44.45.46.47.48.49.50.51.52.53.54.55.56.57.58.59.60.61.62.63.64.65.66.67.68.69.70.71.72.73.74.75.76.77.78.79.80.81.82.83.84.85.86.87.88.89.90.91.92.93.94.95.96.97.98.99.100.101.102.103.104.105.106.107.108.109.110.111.112.113.114.115.116.117.118.119.120.121.122.123.124.125.126.127.128.129.130.131.132.133.134.135.136.137.138.139.140.141.142.143.144.145.146.147.148.149.150.151.152.153.154.155.156.157.158.159.160.161.162.163.164.165.166.167.168.169.170.171.172.173.174.175.176.177.178.179.180.181.182.183.184.185.186.187.188.189.190.191.192.193.194.195.196.197.198.199.200.201.202.203.204.205.206.207.208.209.210.211.212.213.214.215.216.217.218.219.220.221.222.223.224.225.226.227.228.229.230.231.232.233.234.235.236.237.238.239.240.241.242.243.244.245.246.247.248.249.250.251.252.253.254.255.256.257.258.259.260.261.262.263.264.265.266.267.268.269.270.271.272.273.274.275.276.277.278.279.280.281.282.283.284.285.286.287.288.289.290.291.292.293.294.295.296.297.298.299.300.301.302.303.304.305.306.307.308.309.310.311.312.313.314.315.316.317.318.319.320.321.322.323.324.325.326.327.328.329.330.331.332.333.334.335.336.337.338.339.340.341.342.343.344.345.346.347.348.349.350.351.352.353.354.355.356.357.358.359.360.361.362.363.364.365.366.367.368.369.370.371.372.373.374.375.376.377.378.379.380.381.382.383.384.385.386.387.388.389.390.391.392.393.394.395.396.397.398.399.400.401.402.403.404.405.406.407.408.409.410.411.412.413.414.415.416.417.418.419.420.421.422.423.424.425.426.427.428.429.430.431.432.433.434.435.436.437.438.439.440.441.442.443.444.445.446.447.448.449.450.451.452.453.454.455.456.457.458.459.460.461.462.463.464.465.466.467.468.469.470.471.472.473.474.475.476.477.478.479.480.481.482.483.484.485.486.487.488.489.490.491.492.493.494.495.496.497.498.499.500.501.502.503.504.505.506.507.508.509.510.511.512.513.514.515.516.517.518.519.520.521.522.523.524.525.526.527.528.529.530.531.532.533.534.535.536.537.538.539.540.541.542.543.544.545.546.547.548.549.550.551.552.553.554.555.556.557.558.559.560.561.562.563.564.565.566.567.568.569.570.571.572.573.574.575.576.577.578.579.580.581.582.583.584.585.586.587.588.589.590.591.592.593.594.595.596.597.598.599.600.601.602.603.604.605.606.607.608.609.610.611.612.613.614.615.616.617.618.619.620.621.622.623.624.625.626.627.628.629.630.631.632.633.634.635.636.637.638.639.640.641.642.643.644.645.646.647.648.649.650.651.652.653.654.655.656.657.658.659.660.661.662.663.664.665.666.667.668.669.670.671.672.673.674.675.676.677.678.679.680.681.682.683.684.685.686.687.688.689.690.691.692.693.694.695.696.697.698.699.700.701.702.703.704.705.706.707.708.709.710.711.712.713.714.715.716.717.718.719.720.721.722.723.724.725.726.727.728.729.730.731.732.733.734.735.736.737.738.739.740.741.742.743.744.745.746.747.748.749.750.751.752.753.754.755.756.757.758.759.760.761.762.763.764.765.766.767.768.769.770.771.772.773.774.775.776.777.778.779.780.781.782.783.784.785.786.787.788.789.790.791.792.793.794.795.796.797.798.799.800.801.802.803.804.805.806.807.808.809.810.811.812.813.814.815.816.817.818.819.820.821.822.823.824.825.826.827.828.829.830.831.832.833.834.835.836.837.838.839.840.841.842.843.844.845.846.847.848.849.850.851.852.853.854.855.856.857.858.859.860.861.862.863.864.865.866.867.868.869.870.871.872.873.874.875.876.877.878.879.880.881.882.883.884.885.886.887.888.889.890.891.892.893.894.895.896.897.898.899.900.901.902.903.904.905.906.907.908.909.910.911.912.913.914.915.916.917.918.919.920.921.922.923.924.925.926.927.928.929.930.931.932.933.934.935.936.937.938.939.940.941.942.943.944.945.946.947.948.949.950.951.952.953.954.955.956.957.958.959.960.961.962.963.964.965.966.967.968.969.970.971.972.973.974.975.976.977.978.979.980.981.982.983.984.985.986.987.988.989.990.991.992.993.994.995.996.997.998.999.1000.1001.1002.1003.1004.1005.1006.1007.1008.1009.1010.1011.1012.1013.1014.1015.1016.1017.1018.1019.1020.1021.1022.1023.1024.1025.1026.1027.1028.1029.1030.1031.1032.1033.1034.1035.1036.1037.1038.1039.1040.1041.1042.1043.1044.1045.1046.1047.1048.1049.1050.1051.1052.1053.1054.1055.1056.1057.1058.1059.1060.1061.1062.1063.1064.1065.1066.1067.1068.1069.1070.1071.1072.1073.1074.1075.1076.1077.1078.1079.1080.1081.1082.1083.1084.1085.1086.1087.1088.1089.1090.1091.1092.1093.1094.1095.1096.1097.1098.1099.1100.1101.1102.1103.1104.1105.1106.1107.1108.1109.1110.1111.1112.1113.1114.1115.1116.1117.1118.1119.1120.1121.1122.1123.1124.1125.1126.1127.1128.1129.1130.1131.1132.1133.1134.1135.1136.1137.1138.1139.1140.1141.1142.1143.1144.1145.1146.1147.1148.1149.1150.1151.1152.1153.1154.1155.1156.1157.1158.1159.1160.1161.1162.1163.1164.1165.1166.1167.1168.1169.1170.1171.1172.1173.1174.1175.1176.1177.1178.1179.1180.1181.1182.1183.1184.1185.1186.1187.1188.1189.1190.1191.1192.1193.1194.1195.1196.1197.1198.1199.1200.1201.1202.1203.1204.1205.1206.1207.1208.1209.1210.1211.1212.1213.1214.1215.1216.1217.1218.1219.1220.1221.1222.1223.1224.1225.1226.1227.1228.1229.1230.1231.1232.1233.1234.1235.1236.1237.1238.1239.1240.1241.1242.1243.1244.1245.1246.1247.1248.1249.1250.1251.1252.1253.1254.1255.1256.1257.1258.1259.1260.1261.1262.1263.1264.1265.1266.1267.1268.1269.1270.1271.1272.1273.1274.1275.1276.1277.1278.1279.1280.1281.1282.1283.1284.1285.1286.1287.1288.1289.1290.1291.1292.1293.1294.1295.1296.1297.1298.1299.1300.1301.1302.1303.1304.1305.1306.1307.1308.1309.1310.1311.1312.1313.1314.1315.1316.1317.1318.1319.1320.1321.1322.1323.1324.1325.1326.1327.1328.1329.1330.1331.1332.1333.1334.1335.1336.1337.1338.1339.1340.1341.1342.1343.1344.1345.1346.1347.1348.1349.1350.1351.1352.1353.1354.1355.1356.1357.1358.1359.1360.1361.1362.1363.1364.1365.1366.1367.1368.1369.1370.1371.1372.1373.1374.1375.1376.1377.1378.1379.1380.1381.1382.1383.1384.1385.1386.1387.1388.1389.1390.1391.1392.1393.1394.1395.1396.1397.1398.1399.1400.1401.1402.1403.1404.1405.1406.1407.1408.1409.1410.1411.1412.1413.1414.1415.1416.1417.1418.1419.1420.1421.1422.1423.1424.1425.1426.1427.1428.1429.1430.1431.1432.1433.1434.1435.1436.1437.1438.1439.1440.1441.1442.1443.1444.1445.1446.1447.1448.1449.1450.1451.1452.1453.1454.1455.1456.1457.1458.1459.1460.1461.1462.1463.1464.1465.1466.1467.1468.1469.1470.1471.1472.1473.1474.1475.1476.1477.1478.1479.1480.1481.1482.1483.1484.1485.1486.1487.1488.1489.1490.1491.1492.1493.1494.1495.1496.1497.1498.1499.1500.1501.1502.1503.1504.1505.1506.1507.1508.1509.1510.1511.1512.1513.1514.1515.1516.1517.1518.1519.1520.1521.1522.1523.1524.1525.1526.1527.1528.1529.1530.1531.1532.1533.1534.1535.1536.1537.1538.1539.1540.1541.1542.1543.1544.1545.1546.1547.1548.1549.1550.1551.1552.1553.1554.1555.1556.1557.1558.1559.1560.1561.1562.1563.1564.1565.1566.1567.1568.1569.1570.1571.1572.1573.1574.1575.1576.1577.1578.1579.1580.1581.1582.1583.1584.1585.1586.1587.1588.1589.1590.1591.1592.1593.1594.1595.1596.1597.1598.1599.1600.1601.1602.1603.1604.1605.1606.1607.1608.1609.1610.1611.1612.1613.1614.1615.1616.1617.1618.1619.1620.1621.1622.1623.1624.1625.1626.1627.1628.1629.1630.1631.1632.1633.1634.1635.1636.1637.1638.1639.1640.1641.1642.1643.1644.1645.1646.1647.1648.1649.1650.1651.1652.1653.1654.1655.1656.1657.1658.1659.1660.1661.1662.1663.1664.1665.1666.1667.1668.1669.1670.1671.1672.1673.1674.1675.1676.1677.1678.1679.1680.1681.1682.1683.1684.1685.1686.1687.1688.1689.1690.1691.1692.1693.1694.1695.1696.1697.1698.1699.1700.1701.1702.1703.1704.1705.1706.1707.1708.1709.1710.1711.1712.1713.1714.1715.1716.1717.1718.1719.1720.1721.1722.1723.1724.1725.1726.1727.1728.1729.1730.1731.1732.1733.1734.1735.1736.1737.1738.1739.1740.1741.1742.1743.1744.1745.1746.1747.1748.1749.1750.1751.1752.1753.1754.1755.1756.1757.1758.1759.1760.1761.1762.1763.1764.1765.1766.1767.1768.1769.1770.1771.1772.1773.1774.1775.1776.1777.1778.1779.1780.1781.1782.1783.1784.1785.1786.1787.1788.1789.1790.1791.1792.1793.1794.1795.1796.1797.1798.1799.1800.1801.1802.1803.1804.1805.1806.1807.1808.1809.1810.1811.1812.1813.1814.1815.1816.1817.1818.1819.1820.1821.1822.1823.1824.1825.1826.1827.1828.1829.1830.1831.1832.1833.1834.1835.1836.1837.1838.1839.1840.1841.1842.1843.1844.1845.1846.1847.1848.1849.1850.1851.1852.1853.1854.1855.1856.1857.1858.1859.1860.1861.1862.1863.1864.1865.1866.1867.1868.1869.1870.1871.1872.1873.1874.1875.1876.1877.1878.1879.1880.1881.1882.1883.1884.1885.1886.1887.1888.1889.1890.1891.1892.1893.1894.1895.1896.1897.1898.1899.1900.1901.1902.1903.1904.1905.1906.1907.1908.1909.1910.1911.1912.1913.1914.1915.1916.1917.1918.1919.1920.1921.1922.1923.1924.1925.1926.1927.1928.1929.1930.1931.1932.1933.1934.1935.1936.1937.1938.1939.1940.1941.1942.1943.1944.1945.1946.1947.1948.1949.1950.1951.1952.1953.1954.1955.1956.1957.1958.1959.1960.1961.1962.1963.1964.1965.1966.1967.1968.1969.1970.1971.1972.1973.1974.1975.1976.1977.1978.1979.1980.1981.1982.1983.1984.1985.1986.1987.1988.1989.1990.1991.1992.1993.1994.1995.1996.1997.1998.1999.2000.2001.2002.2003.2004.2005.2006.2007.2008.2009.2010.2011.2012.2013.2014.2015.2016.2017.2018.2019.2020.2021.2022.2023.2024.2025.2026.2027.2028.2029.2030.2031.2032.2033.2034.2035.2036.2037.2038.2039.2040.2041.2042.2043.2044.2045.2046.2047.2048.2049.2050.2051.2052.2053.2054.2055.2056.2057.2058.2059.2060.2061.2062.2063.2064.2065.2066.2067.2068.2069.2070.2071.2072.2073.2074.2075.2076.2077.2078.2079.2080.2081.2082.2083.2084.2085.2086.2087.2088.2089.2090.2091.2092.2093.2094.2095.2096.2097.2098.2099.2100.2101.2102.2103.2104.2105.2106.2107.2108.2109.2110.2111.2112.2113.2114.2115.2116.2117.2118.2119.2120.2121.2122.2123.2124.2125.2126.2127.2128.2129.2130.2131.2132.2133.2134.2135.2136.2137.2138.2139.2140.2141.2142.2143.2144.2145.2146.2147.2148.2149.2150.2151.2152.2153.2154.2155.2156.2157.2158.2159.2160.2161.2162.2163.2164.2165.2166.2167.2168.2169.2170.2171.2172.2173.2174.2175.2176.2177.2178.2179.2180.2181.2182.2183.2184.2185.2186.2187.2188.2189.2190.2191.2192.2193.2194.2195.2196.2197.2198.2199.2200.2201.2202.2203.2204.2205.2206.2207.2208.2209.2210.2211.2212.2213.2214.2215.2216.2217.2218.2219.2220.2221.2222.2223.2224.2225.2226.2227.2228.2229.2230.2231.2232.2233.2234.2235.2236.2237.2238.2239.2240.2241.2242.2243.2244.2245.2246.2247.2248.2249.2250.2251.2252.2253.2254.2255.2256.2257.2258.2259.2260.2261.2262.2263.2264.2265.2266.2267.2268.2269.2270.2271.2272.2273.2274.2275.2276.2277.2278.2279.2280.2281.2282.2283.2284.2285.2286.2287.2288.2289.2290.2291.2292.2293.2294.2295.2296.2297.2298.2299.2300.2301.2302.2303.2304.2305.2306.2307.2308.2309.2310.2311.2312.2313.2314.2315.2316.2317.2318.2319.2320.2321.2322.2323.2324.2325.2326.2327.2328.2329.2330.2331.2332.2333.2334.2335.2336.2337.2338.2339.2340.2341.2342.2343.2344.2345.2346.

・右頁全面に、はみだり

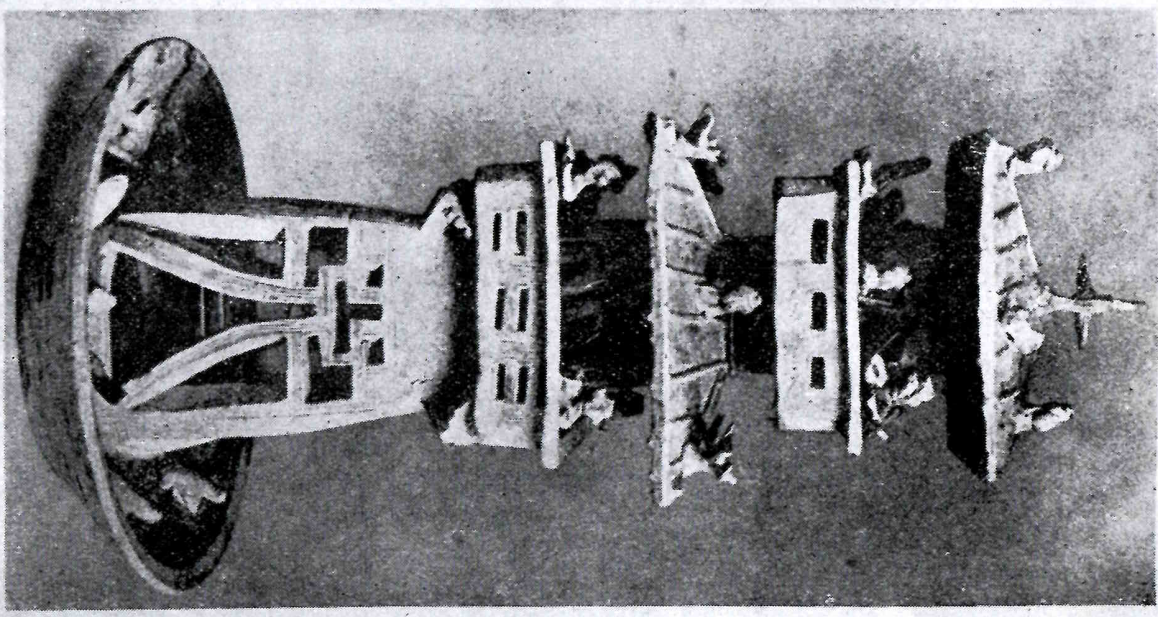
大抵
掲載
下さい。

3.694^p - 6/9



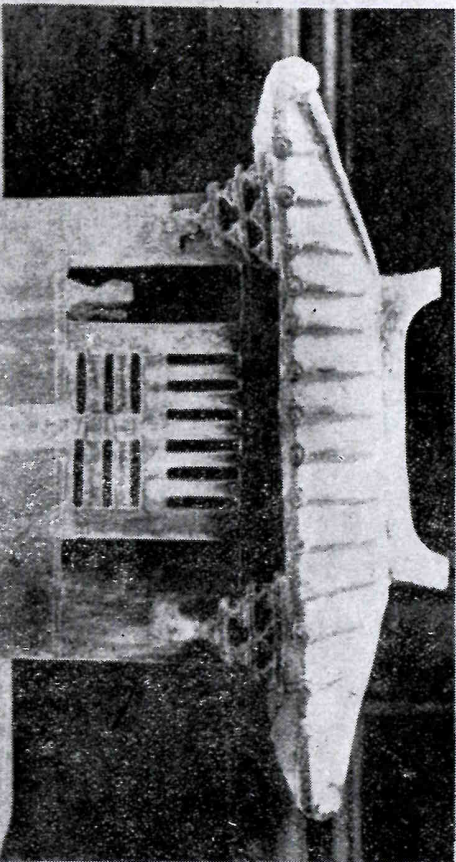
(2)

緑龍望樓 (エウモルノオテロス氏蔵)



(1)

緑龍捕鳥塔 (リッヤイ氏蔵)
(3) 魏李憲墓出土瓦屋

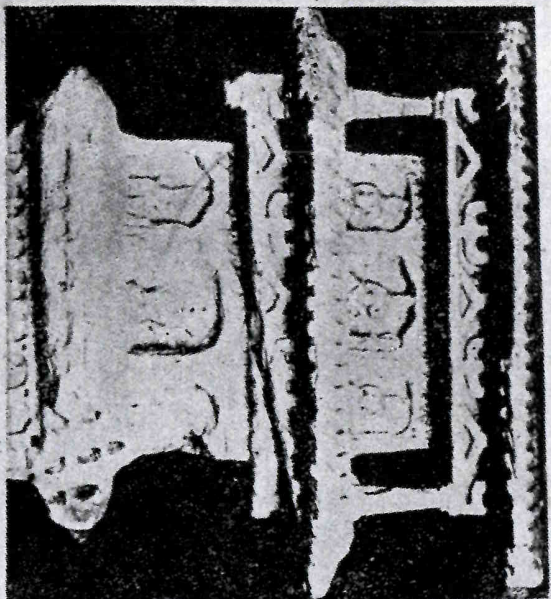


140g

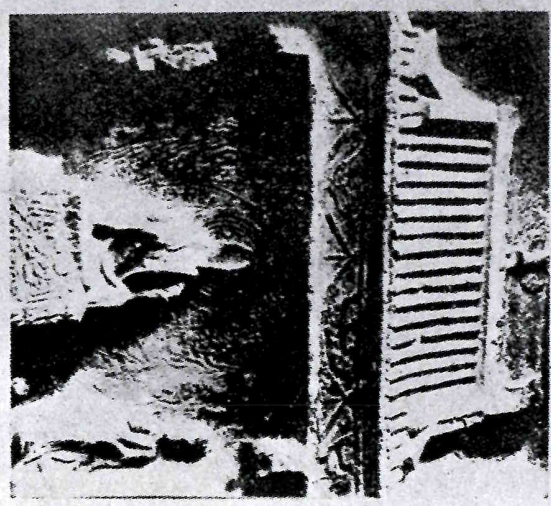
写真図版 656 漢六朝明器建築模型

支那學論叢 弘文堂書房、大正15年5月25日発行、109頁、法隆寺の建築様式と支那漢六朝の建築様式に就いて 浜田耕作氏執筆参照

・左頁全圖に、おかしな
大まぐ掲載下さい。



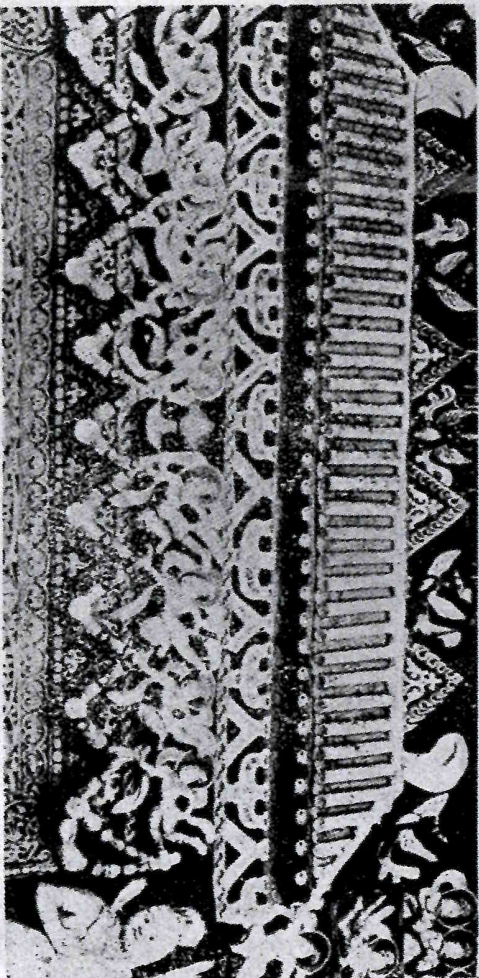
1



2



3



4

- (1) 支那山西雲崗石窟寺第二洞
(3) 同 雲崗石窟寺第十二洞

- (2) 同 河南龍門石窟寺古陽洞
(4) 同 上石窟寺第九洞

3,694^p - 7/9

280

1309

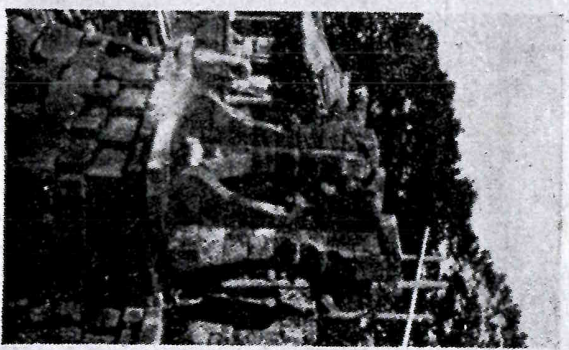
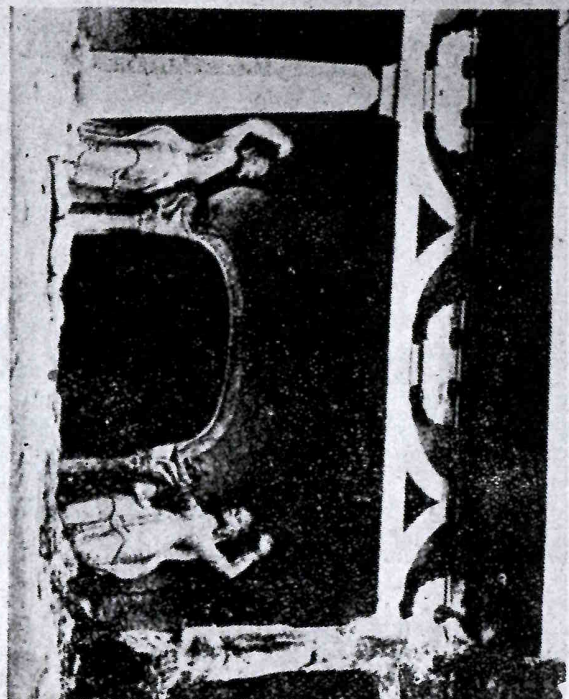
1500年

1409

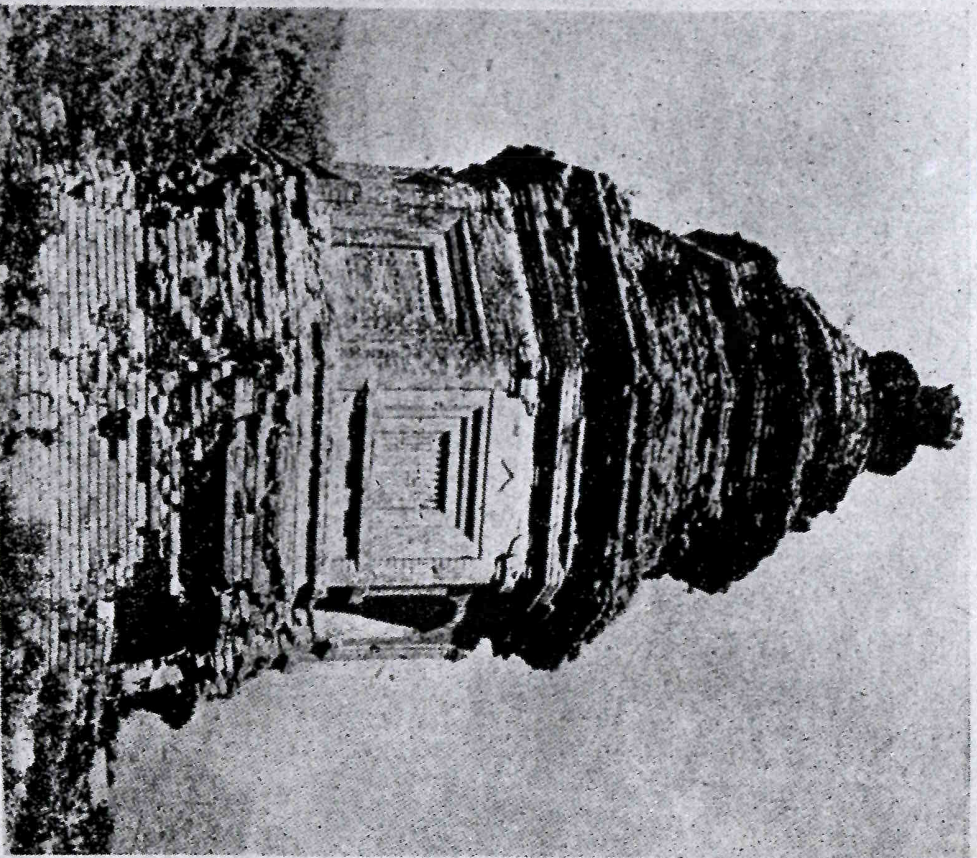
写真図版 657 支那石窟寺所現建築様式

支那學論叢書 弘文堂書房、大正15年5月25日発行、10頁、^{おかしな}法隆寺の建築様式と支那漢六朝の建築様式に就いて、^{おかしな}浜田耕作氏執筆参照

・右頁全面に、おとし、
大主掲載下さい。



- (1) 支那山西天龍寺石窟寺第十六洞
- (2) 同、河南崇山會善寺淨藏師師塔
- (3) 朝鮮慶州佛國寺通影樓基柱



281
→ 図を参考にしておいて下さい

↑ 図を参考に

↑ 図を参考に

3,694^p-8/9

14a4

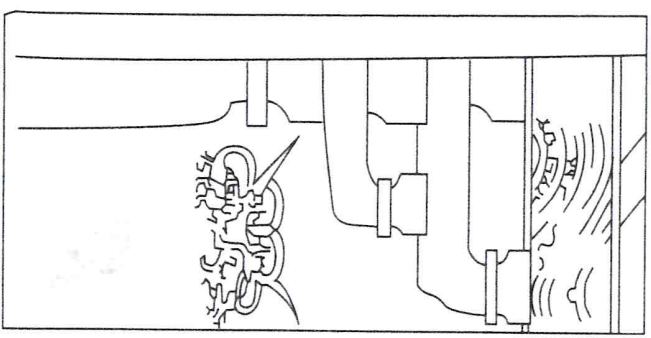
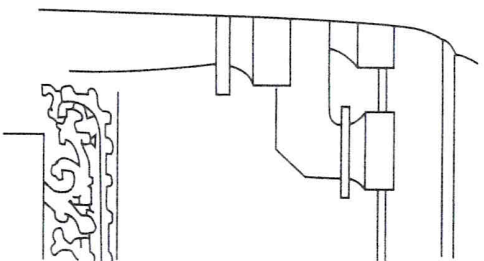
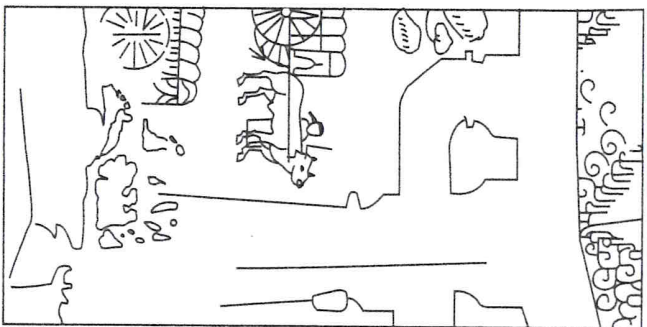
13a4

支那図版 658 支那及び朝鮮各種遺物建築様式

のてんちん

支那図版 658 支那及び朝鮮各種遺物建築様式
大正15年5月25日発行、103頁、法隆寺の建築様式と支那漢六朝の

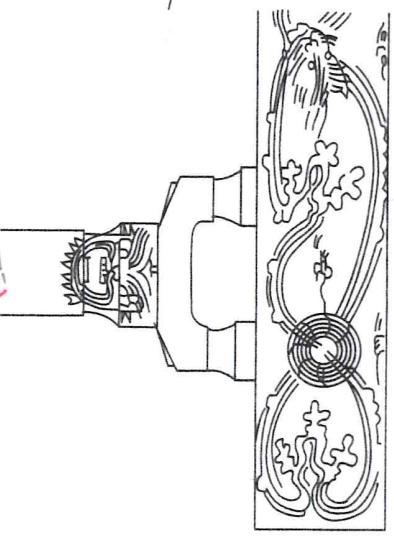
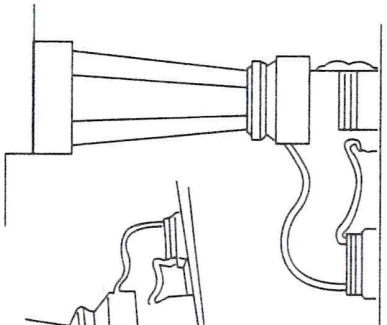
建築様式に就いて、浜田耕作氏執筆参照。



(1) 高句麗壁画古墳の柱・斗栱図

282

3,694⁰ - 9/9



(2) 四川彭山530号崖墓石柱斗栱

(3) 安岳3号墳石造双斗

1409 第454図 高句麗 おふび四川各種遺物建築様式

1309

『聖徳太子の歴史を讀む』上田正昭、文栄堂、2008年2月22日発行、255頁参照。

12. 戦後、北朝鮮で発見された(3)安岳3号墳(357年)にも、法隆寺と同様の双斗が使われて、肘木の下に舌という出っ張りが付いている。こゝに「何であるのか分からないが、法隆寺のものにも舌がある」というように、類似性はいくつかが指摘できる。

で、その発想は両者相異なるものであるが、
いずれも雲形斗拱の起源を漢・魏にま
でさかのぼって考えている点、また、雲形を
した斗拱が中国ないし朝鮮に存在し、それが
そのまま我が国へ伝来したとみなしている点
では、両者はまったくの一致を見せている。
説共*

とはいえず 茨田説・福山説・村田説ともに
へ雲形をした斗拱が、中国ないし朝鮮で継

承され引き継がれてきて、飛鳥時代となつた
時に我が国へ伝来した
と推定している点に疑問が残る。
太原市南西の仏教石窟

と、いうのは、四川省の漢代石窟から初唐窟
である山西省天竜山石窟へ至るまで、いっ
多種多様な変形斗拱が存在するものの、

いかうした中国の変形斗拱と法隆寺金堂
の雲形斗拱との間には、見逃すべ
い決定的な相違みがあるからである。

① 中国における変形斗拱がどんなに曲がり

上原和 89^P さいほう 22頁の巻頭から
90^P 3696^P

上原和 89¹⁰ 同文 1863^P
上原和 89^P 大引 1343^P
2077^P

ねっているといつてもいあるいはどんなに奇
抜な形をいつていってても、それはしよせ
人肘木の部分だけのことであって、斗の部分
はいついかなる場合にも本来の四角い升形を
崩すことはなく、また斗と肘木との接合部も
極めて明瞭であり、両者の分節は完全である
②これに対し、法隆寺金堂の雲形斗拱は、
周知のように、斗拱とは呼ばれてはいる
も肘木の形も共にに崩れ、両者は完全に癒着
し、分節が失われている。
つまり、法隆寺金堂の雲形斗拱には、
斗拱の斗拱化がみられる。そして、この
斗拱の斗拱化の上からは生まれてこない、と断
て差し支えない。
なお、高句麗古墳壁画に雲文様の描かれ
た斗拱が見られるところから、斗拱自体が雲
形をなしたのも中国や朝鮮に存在し、得たの
ではないかという臆測がなされている。
だが、ここでも見落としてならないのは

高句麗古墳壁画に描かれている雲文様をもつ斗拱
の場合も、斗と肘木との分節はきわめて明瞭
であり、そうした造形感覚からは、斗と肘木
とが完全に癒着した雲文様の造形などという
ものはとうてい考え得られない、といえよう。
(「聖徳太子」上原和、講談社八七、九十頁参照)
(*) 大陸(中国あるいは朝鮮半島)から
それにして、いうまでもなく、
へ斑鳩寺(現法隆寺)を建立するに当たって
最先端の優れた技術を吸収しよ
うとした。
というのであれば理解できる。
しかし、
へどうして、時代をはるかにさかのぼった
漢・魏の頃の技術(数百年も昔の旧式の技術
を取り入れる必要があつたのだろうか)
と疑問視される。

斗と肘木の分節が失われ、まっただ雲
形斗拱が、中国・朝鮮半島のどこかで、
細文

後漢 永初 25~220年 (2) 3694-3/2 上戸 87~88P 3694 3,697-3/2
 永初 25~220年 (2) 3694-3/2 上戸 87~88P 3694 3,697-3/2
 永初 25~220年 (2) 3694-3/2 上戸 87~88P 3694 3,697-3/2

前 16号の「たろうか」

前 16号「たろうか」

上戸 87~88Pの文
 に記されて
 いる。

となから用いられて、
 こゝが法隆寺金堂に採択された。
 などというところか、果して本当に有り得たの
 だろうか？と疑問がわく。

＊

とすれば、
 法隆寺金堂の雲形斗拱について
 は、どのよう^うに考えたら合理的に理解できる
 のだろうか。ものの大略の
 定かではないが、次のような筋道を考えて

みた。
 漢代に、四川省の石造遺物にみられるよう
 な曲がりくねった肘木が造られるようになった。
 また、後漢から三国（魏・吳・蜀）時代にかけて
 の文献（三・三世紀）をみると、斗拱に雲
 文様を描くことが多かったようである。
 かしながら、中国の肘木が曲がりくねり
 あるいは斗拱に雲文様を描かれたといつても
 それはしよせん肘木の部分だけのことであつ
 て、斗の部分はいついかなる場合にも本来の

四十年

3,698^P-1/2

て、斗の部分から本来の四角い升形を崩すことは、決してなかつた。

② 出で、卑彌呼は二三九年来魏の国へ使いを出し、その後頻繁に帯方郡あるいは洛陽

の都へ使者を派遣した。（魏志倭人伝 神功皇后紀 攝政三十九年）

③ 中国へ遣わされた者達は、必ずや、中華の国の文物に目を見張り、数多くの高度な技術を修得して、倭国に大変革をもたらしたに違いない。

④ なお、すでに述べたように、この物語では、

三世紀半は

（卑彌呼の時代の頃、洛陽城とそっくり瓜二つの壮大な都城が、日本列島西域の邪馬台国（肥後国）に築かれた）

と考えてみた。〔第二十八章「邪馬台国に現出した洛陽城」において既述〕

② よして察するところ、

魏国の都日洛陽城の宮殿の軒下にあつて、ひととき由華やいで見えた日雲形の肘木

および四角い斗と全く同じ構造の斗拱が

邪馬台国に造られた新宮城の日大極殿に

などの殿舎の軒下に取り付けられたのである

上頁和 3696 1/2
3697 1/2
89
5行へ

漢が 3698 1/2
3,698 1/2
漢が 3698 1/2
3,698 1/2

ゆうが
優雅

1382 1/2
1580 1/2
4/4
16
前頁

（と）
いる

うと推察される。（第十八章へ朝貢の儀）。第二
十二章へ新城築城の項において既述）
（3）優雅にも美しい雲の模様を描いた肘木が宮殿
の軒を支えてゐる光景を見上げる倭国の都の
人々は、この東海の島に居ながらにして、
中国の洛陽の都城の内に遊び興じて
ような、甘い夢見心地にひたつたことであつ
たろうか。

④漢・魏の時代の雲文様を描いた斗拱は
倭国にだけでなく、高句麗にも伝つたよ
うである。魏・吳・蜀の三国時代より

7年代は少し遅れるが、高句麗古墳の石造
墓室の壁面にその実際が彫られる。

というのである。
もつとも、高句麗古墳壁面に雲文が描かれ
てゐる斗拱の場合も、斗と肘木との分節は極

めて明瞭だ。
⑤ところか何と、高句麗や倭国が古式の斗拱

1404ちやて
執着 1050P

428(2016)9.10(土)
H30(2018)9.22(土) ~ 9.23(日) ① 3701 1/2 59
H31(2019)3.30(土) ~ 3.30(日) ① 3701 1/2 59
令和元(2019)9.9(月) ~ 9.9(日) ① 3701 1/2 59
令和3(2021)1.23(土) ~ 1.24(日) ① 3701 1/2 59
623 628
-239 -239
384 389
3,699P

固執 (こじつ)

に執着してつづけている間に、中国の斗

拱は時代と共にどんどん新しいさを加え変転

していったのだった。

⑥ それでは、倭国の斗拱には、全く変化がな

かつたのだろうか。

いや、そうではあるまい。

形式は古式ながらも、少くづつ倭人の好み

が加えられて、倭国独自の斗拱

へと変えていったように思われる。

すなわち、
の西暦六三十八年

へ三世紀中葉頃に倭国へ導入された斗拱は

四百年ばかり後の世(推古朝末頃)

となった時、斗拱の升の部分と肘木部分は

合体して、斗拱全体が雲の形をあらわしたよ

うな優美なものへと変貌を遂げていたのであ

らう。

と想測される。(第450回へ法隆寺金堂の雲形

斗拱参照)

下1/24
1/24